

第5学年 外国語活動学習指導案

日 時 平成27年10月23日(金) 5校時

場 所 フレンドルーム

児 童 5年3組 男17名 女13名 計30名

授業者 主濱 一華

1 単元名 好きなものを伝えよう【What do you want?】

2 個人課題

間違いを恐れずに積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成 ～表現したくなるような活動の設定～
--

3 単元について

(1) 児童について

児童は、4月に新しく始まった外国語活動の時間を楽しみにしている。特にALTとの授業時間は、真剣に外国語を聞き、発音している児童が多い。Lesson 1 から Lesson 5 までに、英語での挨拶や自分の名前の言い方、感情や様子を伝えること、1 から 20 までの数の言い方や尋ね方、好きなものの言い方や尋ね方を学習してきた。学習を重ねる度に学級全体で単語を発音したり、話したりすることは慣れてきたように見える。しかし、指名されて一人で発音したり、話したりすることにはまだまだ抵抗がある。

また、クラス替えをして半年が経ち、行事を乗り越える度に学級としてのまとまりは、感じられるようになってきた。同時に、みんなで活動することの良さや楽しさも実感しているようだ。さらに、9月に海外から転入生が仲間入りしたことで、外国語を使ってコミュニケーションを図ろうする雰囲気が見られるようになり、外国語に対する関心は以前よりも高くなってきた。しかし、友人関係は固定化しつつあり、積極的に男女で関わろうとする児童は少ない。

そこで、児童には学習のゴールを示し、「外国語を使ってみたい。話してみたい。」と、間違いを恐れず表現したくなるような活動を設定していく。さらに、外国語活動の特性を生かして、男女で交流したり、積極的に友達と関わったりする児童の態度を育てていきたいと考える。

(2) 単元について

本単元では、アルファベットの大文字を扱いながら「欲しいもの」を積極的に尋ねたり、伝えたりすることを最終目標に設定している。

そこで、ゲームやチャンツの活動を通して、アルファベットに楽しく触れながら、気付き、慣れ親しむ活動を行っていく。また、表現を使う段階では、売り手と買い手に分かれて“What do you want?”の表現とアルファベットを用いて意欲的にコミュニケーション活動を行うことをねらいとする。メッセージカードを作成することを活動のゴールとして設定し、グループで関わり合いながら、児童の「外国語を使ってみたい。話してみたい。」という意欲を高めていく。

4 単元の構成と時間配当

段階	出合う	表現に慣れる	表現を使う
時間	1	2・3・4	5（本時）
主な活動	身の回りには様々な所にアルファベットの大文字が使われているのに気づき、アルファベットの大文字とその読み方を知る。	アルファベットの大文字と読み方を知り、欲しいものを尋ねたり、伝えたりする表現に慣れ親しむ。	積極的にアルファベットの大文字を読もうとし、欲しいものを尋ねたり、伝えたりしようとする。

5 本時の指導について

(1) 本時で目指す児童の姿（ねらい）

アルファベットの文字と読み方を知り、積極的に相手が欲しいものを尋ねたり、自分が欲しいものを伝えたりする姿

(2) 個人課題(★)や共通課題(☆)との関わり

【手立て① 一人一人が意欲的に外国語を話すことができる場の工夫】

☆視点1 意欲喚起 ★個人課題

- ・アルファベットを用いたメッセージカードを完成することを活動のゴールに設定する。
- ・ゲームやチャンツの活動を通して、アルファベットを読むことの楽しさや必然性を実感させる。

【手立て② 積極的に友達と関わり、コミュニケーションを図るための工夫】

☆視点2 学び合い ★個人課題

- ・“アルファベットカードを売り買いする”という場を設定して、相手意識を持って欲しいカードを尋ねたり、伝えたりする。
- ・コミュニケーション活動後は、お礼や相手を賛える言葉を話すことができるようにする。
- ・男女での交流や共感的な態度でコミュニケーションが行うことができた児童を称賛する。

(3) 単元の評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・積極的にアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり、伝えたりしている。

【外国語への慣れ親しみ】

- ・アルファベットの大文字とその読み方を知り、欲しいものを尋ねたり、伝えたりする表現に親しんでいる。

【言語に関する気付き】

- ・身の回りにはアルファベットの大文字で表現されている物があることに気付いている。

主な活動の流れ	HRT's actions(H)/Student's actions(S)	指導上の配慮事項
<p>Warming up</p> <p>1 挨拶をする。(2分)</p> <p>2 キーアルファベットゲームを行う。(6分)</p>	<p>S: Let's start English class. Hello, Ms. Syuhama. H: Hello, everyone. How are you today? S: I'm fine./sleepy/hungry/tired/happy/hot. etc...</p> <p>・前時までに慣れ親しんできたアルファベットの読み方を復習しながら、ペアでゲームをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい声や笑顔で挨拶する。 ・児童一人一人の様子をつかむ。 ・相手の目を見て話すこと (Eye contact) やはっきり話すこと (Clear voice) などに気を付けさせながら気分を尋ね合う表現に慣れ親しませる。 ・ゲームを楽しみながら発音を注意深く聞き、発音できるようにルールの確認をする。
<p>Main activities</p> <p>3 本時のめあてを確認し、基本表現を練習する。(3分)</p> <p>アルファベットを使って、メッセージカードを作ろう。</p> <p>4 チャンツを歌う。(3分)</p> <p>5 コミュニケーション活動を行う。(メッセージカード作り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明 (3分) ・班活動 (15分) ・発表 (5分) ・まとめ (4分) 	<p>・メッセージカードを作るために必要な表現を注意深く聞き、発音する。</p> <p>What do you want? — I want the "C" card, please.</p> <p>H: Let's do the chant together. H: Let's chant ♪ What do you want?</p> <p>H: Let's make the message card.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メッセージワードから贈りたいメッセージを班で決める。 ・必要なアルファベットを明確にして、班の中で分担する。 ・売り手と買い手の2グループに分けてアルファベットカードを売り買いする。 <p>売: What do you want? 買: I want the "C" card, please.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成したメッセージカードを発表する。 ・相手にわかりやすい伝え方でやりとりができていた児童を取り上げ、良さを全体で共有する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>☆視点1 意欲喚起 ★個人課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームやチャンツの活動を通して、アルファベットを読むことの楽しさや必要性を実感させる。 ・Main activities では、アルファベットを用いたメッセージカードを作ることが活動のゴールであることを示す。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットを替えたり、テンポを変えたりしながら本時で使う表現に自信を持って発音できるようにする。 <p>※【慣】アルファベットの大文字とその読み方、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、意欲的に発音している。〈行動観察〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>☆視点2 学び合い ★個人課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“アルファベットカードを売り買いする”という場を設定して積極的に相手が欲しいカードを尋ねたり、自分が欲しいカードを伝えたりする。 ・活動後は、お礼や讃える言葉を話すことができるようにする。 ・男女の交流や共感的な態度でコミュニケーションすることができた児童を称賛する。 </div> <p>※【コ】積極的にアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり、伝えたりしている。〈行動観察〉</p>
<p>Looking back</p> <p>6 本時の振り返りをする。(3分)</p> <p>7 終わりの挨拶をする。(1分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに、記入する。 <p>S: Let's end English class. Thank you. Ms. Syuhama. H: Thank you everyone. Today's class is～.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の頑張りや良さをについても振り返りができるようにする。 ・次時の意欲につながるように本時の授業の評価をする。